

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】



| | |
|------------------|--|
| 1. 負傷事故・ヒヤリハットの別 | ヒヤリハット事例 |
| 2. 体験した事例の名称 | 救急出場の傷病者収容時における、活動協力者の協力行為におけるヒヤリハット事例 |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 救急現場でストレッチャーに乗せた傷病者を救急車に車内に収容した時、手伝ってくれた医師が救急車のハッチバックドアを閉めようとした。救急隊員は傷病者の足がハッチバックドアに当りそうだったので救急車内に乗り込み傷病者を頭側へ移動させようとしていた。移動がもう少し遅ければ傷病者の足を負傷させていた可能性が高い。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 1. 救急活動に協力してもらう場合に必要な、的確な指示を与えなかった。 2. 協力してもらう活動特有の危険性を十分に説明しなかった。 |

【体験した事例の直接的な原因について】



| | |
|------------------|--------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 情報入力に問題があった。 |
|------------------|--------------|

【体験した事例について】



| | |
|-----------------------------------|-----------------------------|
| 1. 発生日時 | 平成 18 年 8 月 13 日 午後 7 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候 | 晴 |
| 3. 発生した活動現場 | 屋外： |
| 4. 体験した事例の種類 | 他人が、回答者を負傷させそうになった。 |
| 5. 負傷事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度） | 軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。 |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか） | その他：ドアに足を挟む |
| 7. 事例体験時の活動 | 救急、 [現場活動中期、] |
| 8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか | 車両への収容、その他：車内収容時の救急協力者による事故 |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | これまでに1, 2回程度体験している。 |

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

| | |
|----------------------|--|
| ○当事者A | 年齢[49]歳、勤続年数[30]年、現場経験年数[27]年、階級[消防司令]、同様の活動 []、任務 [車長] |
| ○当事者B | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 [] |
| ○当事者C | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 [] |
| その他 (当事者が4人以上の場合) | |

11. 事例発生の経過。

| | 誰(何)が | なにをした | その他・備考など |
|------|--------|----------------|----------|
| 経過1 | 救急協力者が | 安全を確認せずにドアを閉めた | |
| 経過2 | | | |
| 経過3 | | | |
| 経過4 | | | |
| 経過5 | | | |
| 経過6 | | | |
| 経過7 | | | |
| 経過8 | | | |
| 経過9 | | | |
| 経過10 | | | |

【その事例発生時の状況について】



- 負傷事故の場合 : 負傷事故が起きたのはどうしてだと思えるか？
ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

| | |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

| | |
|----------------------------------|-----|
| ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 | はい |
| ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

| | |
|-----------------------------|-----|
| ・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 | いいえ |
| ・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい |
| ・ 活動に対する経験が不足していた。 | いいえ |

d. 心身の不調があった

| | |
|------------|-----|
| ・ 体調が悪かった。 | いいえ |
| ・ 悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

| | |
|----------------------|-----|
| ・ 装備・資機材自体に問題があった。 | いいえ |
| ・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・ 必要とする装備・資機材がなかった。 | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

| | |
|----------------------------------|-----|
| ・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |
| ・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

| | |
|-------------------|-----|
| ・ 狭隘な場所であった。 | いいえ |
| ・ 暑かった（寒かった）。 | いいえ |
| ・ 野次馬が多かった。 | いいえ |
| ・ 現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

| | |
|-------------------|-----|
| ・ 足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・ 足元の強度が不足していた。 | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

| | |
|--------------------------------------|-----|
| ・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。） | いいえ |
| ・ 指示内容に誤り・偏りがあった。 | はい |
| ・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| | |
|-----------------|-----|
| ・ 隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・ 隊員が不足していた。 | はい |

○その他

l. その他の理由があった。

| |
|-----|
| いいえ |
|-----|